

書名	筒井順慶の悩める六月			著者名	中南 元伸／著			
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-26496-7		本体価格	¥720	発売	2025/6/6
内容	日本史上屈指のクーデター・本能寺の変。織田信長に臣従しながら、明智光秀とも懇意にしていた筒井順慶は、恩と義、そしてお家の存続と政治力学の板挟みとなる。本能寺の変と山崎の戦い、その間に筒井家にどのような苦悩があったのか？「日和見順慶」との風評被害を受ける筒井順慶の真の人間像と武将間の駆け引きを、リアルにユーモアたっぷりに描き切る傑作歴史小説。							

書名	道の駅から地域創生 古都華の聖地・平群			著者名	中山 悟／著			
出版社	奈良新聞社	ISBN	978-4-88856-180-8		本体価格	¥2,000	発売	2025/6/10
内容	奈良県職員として45年にわたり、農業・文化・観光、国際交流、地域振興事業などの地方行政に携わり、その後のコロナ禍のなかで所長として道の駅「大和路へぐり」の改革に取り組みました。これまでの活動と成果が、地域活性化のヒントと展望を提起し、奈良県の様々な地域資源と人財を生かした経営戦略になり、「奈良の未来を創る手引書」となればとまとめました。							

書名	都会と田舎 日本文化外史			著者名	塚本 学／著			
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-540025-8		本体価格	¥1,400	発売	2025/6/12
内容	花のみやこか、懐かしきふるさとか——。日本列島の文化の歴史は、海の外からやってきた最新の情報があつまる都会への憧れと、生まれ育った郷土への思い入れのはざまに紡がれてきた。奈良、京都、のちには江戸・東京という「みやこ」に対する「地方」の憧れと反発、さらに中国大陆や欧米という「中央」に対する「辺境」日本の憧れと反発という二重の交錯を見据え、そこに織り込まれる綾を丹念に描き出した唯一無二の列島文化史。							

書名	改訂 正倉院文書入門			著者名	栄原 永遠男／著			
出版社	法藏館	ISBN	978-4-8318-2698-5		本体価格	¥1,400	発売	2025/6/14
内容	日本古代史に関する重要な内容を含みながらも、その複雑さゆえに扱いには困難がともなう正倉院文書。その大部分を占める「写経所文書」を対象に、整理・復原の状況や調査ツール、基本用語など、読み解きに必須の知識と情報を丁寧に解説。そのうえで、研究活用の事例として写経事業と王権の関係を論究する。研究を牽引してきた著者が、その熱き思いをこめて研究の実態・方法と正倉院文書の多様な姿を詳細に描き、後学への道を示しつつ、広大な正倉院文書の世界への第一歩をアシストする。							

書名	あの日のアオハルと、待ち合わせ			著者名	櫻 いいよ／著			
出版社	集英社	ISBN	978-4-08-680632-9		本体価格	¥670	発売	2025/6/20
内容	夏休み直前、高2の泪(るい)のもとに、わだかまりがあるまま別れた中学時代の親友から手紙が届く。翌日、彼女に会うため電車で飛び乗るが…。なぜか、ほぼ初対面の3人——気さくで人気者の時任、お城が好きな代々木先輩、家に帰りたくないひなも一緒に行くことになって…!? 道中では思いもよらない出来事が起こる。奈良、大阪、兵庫を駆ける青春ロードストーリー！ 舞台となるのは、大和西大寺駅、大阪駅、神戸駅、加古川駅、姫路駅、播州赤穂駅、鶴橋駅。							

書名	天皇家は何度も女王から始まった			著者名	関裕二／著			
出版社	笠間書院	ISBN	978-4-305-71046-8		本体価格	¥1,800	発売	2025/6/24
内容	これまで、女帝は中継ぎと考えられてきた。しかし、「中継ぎ」では説明のつかない多くの謎がある。皇位継承候補の男性が大勢いたにもかかわらず、あえて、女帝が求められたのだ。また、持統天皇の場合、『日本書紀』が神話を構築してまで、持統天皇の即位の正当性を強調している。いったいここで、何が起きていたのだろう。ヤマト建国直前は女王の時代。ヤマト建国後の古墳時代は男王の時代、飛鳥時代から奈良時代は、男王と女帝がめまぐるしく入れ替わる時代だった。この経緯を、どう説明すれば良いだろう。王家の隠された真実に迫る。							

書名	図書館の日本史 増補改訂版			著者名	新藤透／著		
出版社	勉誠社	ISBN	978-4-585-30018-2	本体価格	¥3,800	発売	2025/6/25
内容	図書館はどのように誕生したのか？ 歴史上の人物たちはどのように本を楽しみ、収集し、利用したのか？ 寄贈・貸出・閲覧はいつから行われていたのか？古代から現代まで、日本の図書館の歴史をやさしく読み解く！ 2019年に刊行し、好評を博した一冊を大幅に加筆。						

書名	畿内の古代学6			著者名	編集：広瀬和雄、山中章、吉川真司			
出版社	雄山閣	ISBN	978-4-639-03001-0		本体価格	¥7,000	発売	2025/7/29
内容	本書は、発掘された歴史的資料や文献をもとに、地域独自の視点から古代社会の仕組みや権力の構造を詳細に考察しており、その内容は専門家だけでなく一般読者にとっても分かりやすく構成されています。読み進めるたびに、古代日本の奥深さや畿内の歴史的な重要性に思いを馳せることができ、学びと発見が尽きることはありません。畿内が持つ文化的な豊かさとその深層に迫るために、ぜひ手に取ってみてください！							